

会員・賛助会員各位

横須賀三浦放射線技師会

第 538 回 「医学研修の日」 のご紹介

拝啓 秋冷の候 会員・賛助会員の皆様には、平素より本会諸事業に格別のご理解・ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて この度 下記研修会のご紹介をさせていただきます。

当会会員所属施設 横浜南共済病院 放射線科部長 「金野 義紀」先生が務める、横浜市医師会 学術研修専門部会からの案内となっております。

会員・賛助会員の皆様で、ご興味のある方は是非ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

敬具

平成 28 年 10 月 24 日

第538回 「医学研修の日」

演題 「神奈川県立がんセンター ”i-ROCK”の重粒子線治療」

講師 神奈川県立がんセンター 放射線治療科部長
中山 優子 先生

入場無料

とき 平成28年 11月15日(火) 午後7時30分～

ところ 横浜市健康福祉総合センター4階ホール
横浜市中区桜木町1-1 TEL:201-7362

単位 1.5単位

カリキュラムコード 49(嚔下困難)、65(排尿障害(尿失禁・排尿困難))、73(慢性疾患・複合疾患の管理)

神奈川県立がんセンターi-ROCK(アイロックion-beam Radiation Oncology Center in Kanagawa)にて、主に外来治療により炭素線治療が開始されました。

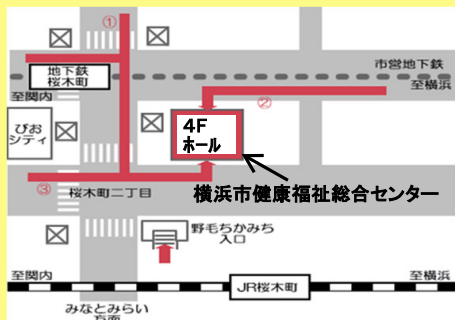
国内重粒子線治療施設としては、全国で5か所目となります。炭素イオンを光速の約70%に加速し、深部腫瘍に照射します。

紹介予約制にて前立腺癌、肝細胞癌、肺野末梢小型非小細胞肺癌、頭頸部非扁平上皮がん、頭頸部粘膜悪性黒色腫(メラノーマ)、切除非適応の骨軟部腫瘍の治療を行っています。いずれも従来の放射線治療では、根治が容易ではなく副作用が生じやすい疾患で、いま炭素線治療が期待されています。

粒子線治療のなかでも、炭素線は陽子線に比べ拡散しないので、より適切に病巣の照射ができます。このため大線量の治療が、より副作用が少なく可能です。

このからだにやさしく、生活の質を重視した治療にとりくまれている神奈川県立がんセンター放射線治療科部長中山優子先生に、御講演をお願い致しました。御多忙とは存じますが、悪性腫瘍を
取り扱う方は是非とも万障お繰り合わせの上、御出席の程、
宜しくお願い申し上げます。

(学術研修専門部会 金野 義紀)



主催 一般社団法人 横浜市医師会
横浜市中区桜木町1丁目1番地
横浜市健康福祉総合センター7階
TEL 201-7362 FAX 201-8768
共催 わかな会